通し番号	４５９９

分類番号	24-25-14-02

ベンフラカルブ5%粒剤(オンコル粒剤5)のホウレンソウ・ハコベハナバエに対する農薬登録の取得
[要約]　ホウレンソウ・ハコベハナバエの防除におけるベンフラカルブ5%粒剤の適用拡大のため、薬効、薬害試験を行った。その結果、平成25年3月13日付けで適用拡大登録された。本剤の使用によりホウレンソウのハコベハナバエが防除できる。
神奈川県農業技術センター・北相地区事務所　　連絡先　042-685-0203

[背景・ねらい]

平成 19 年 10 月に相模原市の秋まきホウレンソウでハコベハナバエによる被害が、全国で初めて発見された。その後、数都県でホウレンソウ被害の報告があり、被害は広範囲に発生していることが明らかとなった。本種による被害は 10 月から 5 月まで認められ、幼虫がホウレンソウの葉身及び葉柄内部を食害し、さらに生長点付近に侵入するため生育不良ひいては枯死に至ることもある。ホウレンソウのハコベハナバエに対する登録農薬がないため、既登録のベンフラカルブ 5%粒剤の適用拡大登録を図る。

[成果の内容・特徴]

1　ハコベハナバエに対し、ベンフラカルブ 5%粒剤の 3kg/10a 播種時土壌混和は処理 50 日程度効果が持続し、実用性がある(表 1、2)。

2　薬害及び倍量薬害は認められない(表 3)。

3　以上の結果をもとに、ベンフラカルブ 5%粒剤(オンコル粒剤 5)はホウレンソウのハコベハナバエに対し、平成 25 年 3 月 13 日付けで適用拡大登録された。

[成果の活用面・留意点]

1　本剤の登録内容は、使用量「3kg/10a」、使用時期「播種時」、使用方法「全面土壌混和」、使用回数「1 回」である。

2　ラベルに記載された安全使用基準を守り、正しく使用する。

［具体的データ］

表1　ベンフラカルブ5%粒剤のハコベハナバエ防除効果(平成22年春まき)

供試薬剤	処理量	区制	被害度	
			処理54日後 (5/12)	処理68日後 (5/26)
ベンフラカルブ5%粒剤	3kg/10a	4区平均	2.4	46.3
		対無処理比	26.4	96.1
無処理		4区平均	9.1	48.2
		対無処理比	100.0	100.0

播種及び薬剤処理日：平成22年3月19日
被害度：(少+2中+3多)/3(調査株数)。少：被害葉1枚の株数、中：被害葉2～3枚の株数、多：被害葉4枚以上の株数。

表2　ベンフラカルブ5%粒剤のハコベハナバエ防除効果(平成23年秋まき)

供試薬剤	処理量	区制	被害度		
			処理20日後 (11/9)	処理32日後 (11/21)	処理46日後 (12/5)
ベンフラカルブ5%粒剤	3kg/10a	3区平均	0.0	0.0	0.0
		対無処理比		0.0	0.0
無処理		3区平均	0.0	1.8	2.9
		対無処理比		100.0	100.0

播種及び薬剤処理日：平成23年10月20日
被害度：(少+2中+3多)/3(調査株数)。少：被害葉1枚の株数、中：被害葉2～3枚の株数、多：被害葉4枚以上の株数。

表3　ベンフラカルブ粒剤のホウレンソウに対する薬害

供試薬剤	処理量	薬害
ベンフラカルブ5%粒剤	3kg/10a	－
	6kg/10a	－
無処理		－

［資　料　名］　平成23年度神奈川県農業技術センター北相地区事務所試験成績書
［研究課題名］　かながわ特産品等マイナー作物に対する農薬登録促進
［研 究 期 間］　平成22～23年
［研究者担当名］　渡辺　茂・武田　甲